

# 桜船会 だより

三菱電機大船地区定年退職者の会

第 43 号

発行日 2019.11.17

発行者 桜船会

発行責任者 木村允紀



▲秋のバス旅行「三菱電機照明（株）掛川北工場見学&駿河路の旅」で三菱電機照明（株）での集合写真

第 27 回総会報告	事務局長 森田 茂
ハイキング同好会活動報告	富山勝己
デジカメ同好会活動報告	市川洋子
第 4 回趣味の作品展示会報告	馬場景一
いきいきライフ：故郷を訪ねる旅—千葉県旅行記—	布施 明
いきいきライフ：「まだまだ仕事をしよう」	亀山正俊
いきいきライフ：桜船会だよりに寄せて	泥 正典
いきいきライフ：入社から現在まで	大下裕司
行事報告：秋のバス旅行報告	伊藤與志夫
事務局だより・編集後記	事務局・編集班

第 27 回 (2019 年度) 桜船会総会  
事務局長 森田 茂

去る 5 月 26 日 (日) 情報総研大会議室において第 27 回総会を開催しました (出席 107 名、委任状 74 名)。今回も昨年に続き総会開始前の時間にロビーで「第 4 回趣味の作品展示会」を開催し 10 名の方が出展され、大盛況でした。

総会は司会が馬場幹事で、物故会員への黙祷のあと、木村会長の挨拶に始まり、新しく情報技術総合研究所長になられた 楠 和浩 様よりご祝辞を頂戴し、あわせて会社の経営状況全般及び情報技術総合研究所での活動状況に加え他の研究部門についての研究開発関連情報のお話を頂きました。大津留誠労働組合東部研究所支部執行委員長様、平川直希リビング・デジタルメディア業務部大船事務所長様、山田直人鎌倉市議会議員様の各ご来賓からも、それぞれご祝辞を頂戴しました。

引き続き、次の議題について担当役員よりそれぞれ報告および提案がなされ、出席会員の賛成多数により、いずれも承認されました。

- ・平成 30 年度活動報告・・・富山副会長
- ・平成 30 年度会計報告・・・伊藤会計
- ・平成 30 年度会計監査報告・・・丸屋会計監査
- ・2019 年度活動計画(案)・・・富山副会長
- ・2019 年度予算(案)・・・伊藤会計
- ・2019 年度役員について、堀労組副執行委員長殿より次のとおり提案があり、出席会員の賛成多数により、承認されました。

会長	木村 允紀
副会長	市川 洋子
副会長	富山 勝己
事務局長	森田 茂
幹 事	桜井 貫智、馬場 景一、皆川 良司 伊藤 與志夫
顧 問	萩原 大義
会 計	伊藤 善貞
会計監査	丸屋 完

最後に木村会長より 2019 年度役員を代表して挨拶があり、新入会員の紹介を行って総会を終了しました。

総会終了後、会場を食堂に移し懇親会を開催しました。懇親会には、来賓の方々及び近隣 OB 会の役員の方々にも参加いただき総勢 130 名になりました。

活動報告 ハイキング同好会 富山 勝己



△日本の三大奇矯・猿橋にて (2018-11-10)

■第 14 回『岩殿山から猿橋&笹一新酒フェア』

2018 年 11 月 10 日(土)、参加 7 名  
大月駅…岩殿山 634m…猿橋…笹子駅…笹一酒造  
◎甲斐路の紅葉と笹一の新酒を楽しみました。

■第 15 回『箱根・飛龍の滝から地蔵群』

2018 年 11 月 29 日(木)、参加 7 名  
湯本駅…畑宿…飛龍の滝…芦之湯…六道地蔵  
◎紅葉の箱根路をデジカメ同好会と歩きました。

■第 16 回『鎌倉宮から十二所果樹園の梅園』

2019 年 3 月 13 日(水)、参加 11 名  
大塔宮…明王院…十二所果樹園…浄妙寺=鎌倉駅  
◎おでん鍋と熱燗で十二所の梅園を楽しみました。

活動報告 デジカメ同好会 市川 洋子



△紅葉の箱根・飛龍の滝 (2018-11-29)

◎ハイキング同好会と合同で撮影会を実施して飛龍の滝と紅葉のコラボを撮りました。

●会員募集中、あなたも撮影に同行しませんか。

5月26日の総会時に第4回趣味の作品展示会を開催し、10名の方に出品していただきました。今回も作品集をここでご紹介いたします。

■ 出展者名・展示品名（敬称略、順不同）

☆市川洋子・写真「平安」「都会のオアシス」



☆布施 明・写真「杜の神様」「紅葉の名瀑」



☆栗山時子・手芸「テーブルセンター」



☆小泉登夫・陶芸「一輪挿し」「皿幾何学模様」



☆宮崎賢治・鎌倉彫「手ぐり鉢」「額版」



☆佐藤菊男・写真

「宇宙にカーブ」「大汗かいて」他



☆萩原大義・写真

「加茂菖蒲園」「富士見高原ゆりの里」



☆石井 茂・木彫り彫刻

「如意輪観音」



☆渡部勁二・色鉛筆画

「お祭り」



☆渡辺安次郎・水彩画

「江ノ島常立寺」「化石とペーパーナイフ」



■ 展示会結果

この展示会は、回を重ねるごとに会員の皆様からの評価が高くなり、この展示会を楽しみにされる方が益々増えてきました。次回は、これまで出展されている方に加え、未だ出展されていない方の出展をお待ちしておりますので、宜しくお願いいたします。

第 11 回の故郷を訪ねる旅は筆者の出身地千葉県を一泊二日で旅する計画を立て「ぼちぼち会」(37 年入社で湘南地区在住者)有志 11 名の参加を得て、平成 30 年 5 月 10 日(木)、11 日(金)に催行いたしました。

今回の旅の目的は、

- ① 千葉県の魅力である新鮮な魚介類を堪能する
- ② 有名な神社・仏閣(香取神宮、成田山新勝寺、誕生寺、崖観音)を参拝する
- ③ 自然豊かな場所(九十九里浜、鯛の浦、粟又の滝)や人工の場所(伊能忠敬記念館、野島崎灯台、江川海岸の電柱、海ほたる)をマイクロバスで巡り見聞することです。

### <第一日目>成田山新勝寺と香取神宮参拝、伊能忠敬記念館と東薫酒造見学

大船駅発 7:19 の成田空港行きのグリーン車に乗り、9:24 に成田駅着。駅前から参道を歩いて「成田山新勝寺」へ。丁度成田山開基 1080 年記念大開帳の時期に当たり、大本堂前で記念写真を撮る。今回の記念建築物として「医王殿」(健康長寿、当病平癒祈願所)が平成 29 年に建立されました。境内伽藍には重要文化財の仁王門、三重塔、光明堂、釈迦堂、額堂の 5 つの建物があります。さらに境内には広い公園があり、四季折々の景色を终日楽しめるようです。

その後マイクロバスで「香取神宮」へ行くが天気予報が外れ、駐車場から神宮総門までの 550m を大雨の中を歩いて参拝することになってしまった。ここは隣の茨城県にある「鹿島神宮」とともに古くから東国の守り神として有名な神宮です。

開基 1080 年祭成田山新勝寺大本堂前(筆者右端)



昼食場所の「香蕎庵」は小野川沿いの小江戸の古民家造りで、手打ち蕎麦の海老天せいろを取り寄せ

た「東薫酒造」の純米吟醸酒と共に美味しく頂いた。

食後は江戸時代に日本の地図を作った「伊能忠敬記念館」や伊能忠敬旧家、佐原の街並みを見学した後「東薫酒造」へ行き、見学と試飲を行うとともにお土産に純米酒を購入した。その後九十九里海岸へ出て御宿の「月の砂漠」を観てから、宿舎の「こみなと漁師料理 海の庭」に着き、入浴後豪華な魚介料理をビールと冷酒を飲みながら堪能しました。

### <第二日目>鯛の浦遊覧船、誕生寺と崖観音参拝、粟又の滝、野島崎灯台、江川海岸から海ほたるへ

「鯛の浦遊覧船」では沢山の鯛が船の周りに集まってくることを期待していたが何故か 2、3 匹しか現れず期待外れに終わった。日蓮上人が誕生の地「誕生寺」を参拝した後、千葉県一の「粟又の滝」(別名養老の滝)を見学したが滝の両サイドの新緑が綺麗で心身共に癒された。昼食は千倉で明治 2 年創業の老舗寿司屋「大徳家」で「お任せにぎり寿司」(渡りカニの味噌汁付き)をいただいたが新鮮でとても美味しかった。房総最南端の「野島崎灯台」は明治 2 年に建てられた日本で二番目に古い灯台(一番古いのは観音崎灯台)で、29m のらせん階段を登った展望台からの眺めは地球が丸いことを実感できた。

「崖観音」(大徳寺)は波打つ地層の妙と百段の階段を登った崖の上にお堂が写真のように建てられていて、そこからの海の眺めが素晴らしかった。

近くの道の駅「枇杷倶楽部」では、枇杷のエキスと果肉を添えたソフトクリームを千葉の名産品の一端として味わった。

潮干狩りが行われる「江川海岸」は海原電線の風景や南米ウユニ塩湖そっくりな風景が見られるとのこと最近 SNS などで話題になっている処です。



崖観音(大徳寺)

トイレ休憩した「海ほたる」の最上階からは東京湾の眺めをみて、終着地横浜駅東口に予定通りに着き、無事旅を終わることが出来ました。

最近制定された高齢者雇用法によって 65 歳まで会社で働かせていただき、2018 年 3 月に退職した。研究所に 33 年間、人開セに 10 年間在籍し、いろいろなことがあったけど、総じて楽しく会社生活を過ごすことができた。

妻と子供は退職したらどうするのだろうと多少の不安と興味を持っていたようで、退職後はどうするのかを訊いてきたが、いろいろやることもあって日常生活は比較的スムーズに移行できた感じがしている。退職後は趣味と旅行というのが定番であるが、どうもそんな気にはなれない。趣味はと言えば、健康のためにも週に 1 回ジムに通ってマシントレーニングと水泳をやり、ときどき誘われればゴルフをやる程度である。旅行は仕事であちこち行ったので、しばらく休んで、少し後の楽しみにとっておこうと思う。ただ、生来の貧乏性なのだろうか、何か目標を定めて動いていないとどうも落ち着かない。

退職後にやってみたいことが 2 つあった。一つは会社を作ること、もう一つは本を書くことである。

会社では研究開発とビジネス教育をやってきた。研究所で長い間、新しい技術を開発していたが、自分ひとりで新技術を開発してベンチャ会社を作るのはもう無理である。しかし、「ビジネス教育の会社」ならとりあえず一人でもできるかもしれないと思い、公認会計士をやっている高校時代の友人のところに行って相談した。いろいろ支援してくれることになり、知り合いの司法書士さんを紹介してもらい、ビジネス教育の会社を設立する手続きを行った。経理業務はその友人にお願いすることにした。

定年退職の頃に友人に会うとこれからどうするという話でもちきりになることがある。私の故郷は岐阜であるが、岐阜の友人がやっている寿司屋が高校時代の友人のたまり場になっていて、そこで以前からの知り合いに起業の話をする、「少し投資をしたい」と言われ、資本金の一部を出資してもらうことにした。出資に対してはちょっと責任を感じ、息苦しさを感したが、受けることにした。オフィスも決め、動き出してから 1 か月半ぐらいで会社ができてしまった。「会社は作るだけなら簡単にできる」というのが率直な感想である。問題はその後の運営であることは言うまでもない。

会社の名称は「ビーゲート・コンサルティング株式会社」とし、「会社の教育を中心としたコンサルティングと講師派遣」を業務とした。英語表記を「Begate」としたが、これは「Business Gate」を簡略化したもので、「ビジネスの入り口」という意味のつもりである。大学の友人に頼んで会社のホームページも作ってもらった。見栄えはよくないが、仕事の内容だけは伝えられている。

最初の仕事は高校時代の友人の取り計らいによるものだった。故郷の岐阜での飲み友達の一人が会社の教育を充実させたいということで、講師の仕事をいくつか持ってきてくれた。

こんなふうにして旧来の友人に支えられ、なんとか 1 年強やってきたが、最初の決算は大赤字である。自分でもやったことのない営業もやったが、名もない会社で、人の繋がりのない飛び込みの仕事は一つも成功していない。大企業のネームバリューの大きさとビジネスの難しさを感じている。

先日、社外委員会で知り合った元 H 社の A 氏と元 F 社の B 氏がオフィスを見にやってきた。会社を説明した後、B 氏が「それで会社は儲かっているの」と訊くので「いや、全然ダメ。レクサス 1 台買ったつもりでやっている」と言うと、すかさず A 氏に「レクサス買ったという方がよかったのと違う」と言われてしまった。だいぶ胸に突き刺さったことばだった。

さて、もう一つの目標である「本を書くこと」の方は着手したところである。本を書くには全体の構想を練り上げることが重要であり、システム構成を決めるのに似ている。あと半年ぐらいで書き上げたいと思っている。



オフィスで仕事する筆者

昨年、お誘いもあったので、この桜船会に入会しました。いろいろお世話になりますので、よろしく願いいたします。

桜船会から、何か書いてほしいと要請がありましたが、ほとんど趣味もなかったので、三菱電機に入社し大船製作所に配属されて以来 40 年余り、ほとんど照明事業に従事させて頂いた者として、入社以降の三菱照明の動向にどのようなかわりをしたか、また退職後の今、無趣味だった私がどう過ごしているか等、思いつくままに書いてみたいと思います。

1972 年に入社し、生産技術に所属、ランプの製造設備ラインの開発を先輩と一緒に担当しておりましたが、一年後に照明器具の外部工場として掛川に菊川照明（株）が設立され、その時期から照明器具の製造設備の開発設計が中心になり、また製造手段としての金型の開発を担当するようになりました。その頃、照明事業の損益は改善が見られず、照明器具製造部門の菊川照明への移管、安定器製造の外部企業への移管などが行われ、私も製造設備・金型を担当する者として走り回っていました。

一方で 1985 年頃から円高が進み、原価低減の一環として資材の海外調達が始まり、金型も海外から調達する動きが商品各場所で進められ、私も住宅用照明器具の金型の海外調達を提案、台湾・韓国、さらには中国へと毎年出張するようになりました。

照明事業は、1989 年（平成元年）に 3 社に分社化され、私は照明器具事業担当の三菱電機照明（株）に所属しました。

住宅照明事業を立て直すために、三菱電機本社の肝いりで、他社との大きな差別化を図る画期的な照明器具として「シーンライティング」を開発、商品化しました。「シーンライティング」は、蛍光灯とハロゲンランプ（電球）を搭載し、生活シーンに合わせて選択的に、当時まだ一般的でなかったリモコンで点灯調光操作ができるようにしたものです。

私は商品化前の開発段階のモックアップ作りも担当し、デザイン図からいきなり点灯できるモデルを制作しました。しかし、価格が何万円もすることから、販売拡大・事業改善には貢献できませんでした。

この時期から電子回路技術が大きく進み、電子安定器の新機能の開発に大きく寄与していく事となったと思います。



以降、私は生産技術を離れ、品質、器具開発などを担当しましたが、照明器具は電子安定器の性能競争と、コストダウンが中心で照明器具としては大きな差別化商品の開発ができない苦しい時期も経験しました。

21 世紀を迎える頃には次世代光源と言われた LED が注目され始めたが、まだ暗く照明への応用は先と言われていました。しかし視認性が優れていることに注目し、業界で初めて LED を実用化した LED 誘導灯を開発担当したのが良い思い出です。

その後、LED の照明適用を進めながら、メーカーでの最後の業務として三菱電機照明の静岡工場（元菊川照明）の管理を担当、この工場は入社直後と退職直前にかかわるといふ運命を感じました。

2009 年に三菱電機照明から業界団体である照明工業会に移り、日本の照明業界全体の動きにかかわる事が出来ました。また LED が業界で拡大する時期で、政府から照明業界へ支援を受けるなど、業界発展のお手伝いが出来たことは、照明事業にかかわった者として、後になるほどやり甲斐のある仕事へとつながりました。これは三菱電機で成長させていただいたお蔭とっております。

今は全てリタイヤして、ポケットとしているものもいくつかありますが、ある人が「きょうよう」と「きょういく」が肝心と言っていました。「今日の内」と「今日行く」場所を持つことだそうです。そこで、定期的に練習場とコースを回ると決め、60 の手習いよろしく、ゴルフを始めたのですが、歳をとってもゴルフはできるが、歳をとってから始めるものではないと実感しています。また、年に何回か旅行を計画し、いろいろ検討するのも普段の楽しみです。業務で幅広い人脈ができた事で付き合いが広がり、体が元気なうちに色々やりたいと思っています。

年齢を重ねたせいかわ昔のことを思い起こすことがあり、自己紹介を兼ねて、入社から現在までを振り返っての会社生活、また近況を書かせていただきます。

今年、1949年（昭和24年）4月に三菱電機が旧船電で照明事業を始めてから70年という記念すべき年となり、展示会等で会社としてPRしています。三菱電機の照明事業は1989年（平成元年）に独オスラム社との合併によるランプ会社と器具会社（三菱電機照明）に分社化されましたが2012年10月に合併して三菱電機照明（MLF）として再出発し、LED照明を中心事業としてほぼ7年経った状態です。

私は1973年（昭和48年）の入社時に旧船電に配属となって照明事業に関わることになり、以降、現在も週3日間MLF嘱託として、変わることなく照明事業の中で仕事をさせていただき47年目を迎えています。

入社以降、電気部品類の開発設計、住宅用照明器具の開発、市場不具合対応、同業他社を中心にした他社への直接販売、品質企画、既製品の市場対策（販売先を追跡しての器具設置先調査並びに点検活動）、製品の遵法推進活動、技術教育等の多くの業務を担当させていただき、今も日々新たな経験をさせていただいていると思っています。

照明に携わられた諸先輩、同僚、後輩、また色々と教えていただき助けていただいた三菱電機の研究所、本社及び他場所、外注先、部品・材料メーカー、そして切磋琢磨させていただいた同業他社やご注文と厳しいご指摘をいただいたお客様にも感謝の気持ちを持つようになりました。



【写真：2019年5月 妻といちご狩にて】

入社後数年経ったころから、照明器具技術者とは何だろうと自問しても希望を持たず、故郷（岡山）に近い他場所への転任を希望したこともありました。

40年以上の時を経て、照明器具技術者が備えるべき技術は、光源や点灯回路等の固有技術とそれ以外の幅広い分野の周辺技術やノウハウを生かしたいいわゆる「ものづくり技術」であり、この蓄積と活用が会社としての技術力を高めると理解するようになり、ここ数年、過去の技術資料等を改めて整理し、勉強会で現役の皆さんに伝えることに取り組む機会を得ることもできました。

60歳で定年退職し、第2の人生としてやっと時間にも少し余裕ができたので、子供たちがプレゼントしてくれた欧州旅行に妻と二人で行くこともできました。現在は同い年の妻に感謝し、二人で週3日の共稼ぎだと言って笑いながら暮らしつつ、たまに顔を見せる孫たちと遊んでいます。

61歳になった2014年から、持病の糖尿病対策を目的として、平塚市総合体育館のスポーツジムに週1～2回通い、できる範囲で筋トレや有酸素運動を行うようになりました。投薬はやめられませんが、血糖値は上がったたり下がったりしながら何とかアンダーコントロールの状態を維持できていると思っています。これは今後も続けなければいけないと覚悟しています。

故郷の岡山県津山市に一人で暮らしていた母が気がかりでしたが、3年間の病院と施設での生活を経て2年前に見送り父の眠るお墓に納骨を済ませ、やっと長男の務めを果たすことができました。

今後の第3の人生は何をしようかと考えたときに、新たなことを勉強したいと考えるようになり、2017年から放送大学教養学部の通信教育を受講しています。1年単位で入学して、任意の教科を選び半年単位で学習する選科履修生として学生生活を始め3年目に入りました。

来年からは、4年制の全科履修生に切り替えてみたいとも考えています。大学院も設けられていますので、視野の遠くには入れて新たな分野の勉強を続けられれば良いと考えています。

- 1) 行き先：三菱電機照明株式会社掛川北工場  
日本平夢テラス、富士高砂酒造
- 2) 開催日：2019年9月26日(木)
- 3) 参加者：43名

抜けるような青空とは言わないもののなんとか雨の心配のない9月26日(木)に秋の日帰りバス旅行が開催されました。

今回の行き先は三菱電機照明株式会社掛川北工場がメインで、その後に日本平夢テラス、そして最後に富士宮の富士高砂酒造の見学でした。

当日7時45分に情報総研正門を出発し、国道1号から圏央道、東名高速、新東名高速に乗り、駿河湾沼津SAでトイレ休憩を取りました。このSAは駿河湾と富士山の眺望の良いということでしたが、富士山は雲の中でした。その後、さらに新東名高速から東名高速に戻り目指す北工場に11時過ぎに到着しました。到着後は概況説明を受けて3班に分かれて工場見学をしました。直管蛍光灯はこの日で生産終了ということでしたが、自動化ラインでいつも通り生産されていました。私が旧船電に入社した当時は2ヶ月間、2交代の現場実習では手作業で包装・梱包作業していたことを思い出しながら見学しました。LED器具もコイル材から板金加工までほとんど自動化されていました。1時間ほどの工場見学を終えて、北工場の従業員の皆さんのお見送りを受け、車中での昼食を取り、日本平夢テラスに向かいました。



★日本平夢テラスから駿河湾を望む★

夢テラスは標高307mの日本平の頂上近くに新国立競技場を設計した隈研吾氏によって平成30年に

設計された建築物です。県産の木材をふんだんに使い、富士山と駿河湾の眺望が良いところですが、残念ながら富士山はここでも雲の中でした。

その後、また新東名高速に乗り富士宮の富士高砂酒造で醸造の工程を見学し、日本酒各種の試飲をして帰路につき、19時前に無事、情報総研に到着しました。

蛇足ながら、今回の旅行ではガイドさんのよどみのない説明が途切れなく続いたことには感心しました。中にはうるさいと思われた方もおられたかとは思いますが、じっくり聞いていればいろいろ雑学の勉強になったのではないかと思います。また次回の旅行を楽しみにしております。

## 事務局

## 会員動向 (2019.4.21~2019.9.30)

### ■ 会員動向 (敬称略)

- ・ 会員数：219名
- ・ 入会者：4名

水上 治雄 松本 利夫 中川路 哲男  
津谷 公三

- ・ 退会者：8名

高井 伸之 高橋長一郎 山田 直志  
赤垣 和男 秋澤 昇 岩崎 波男  
酒井 新一 峯尾 実

### ■ 編集後記

台風15号が首都圏を直撃して大きな傷跡を残した。特に千葉県では電気、水道等のインフラのダメージが大きく復旧が遅れている。沖縄や九州等では近年何度も災害に見舞われ、人々の自然の猛威に対する危険予知感度が高まっているが、首都圏では経験値が低く、対応が遅れた印象がある。温暖化による異常気象が地球規模で確実に顕在化して待ったなしの状況にあり、人間の英知が試されているように思う。

「気候行動サミット」でのスウェーデンの16歳の少女グレタさんの訴えが胸に響く。

編集責任者：桜井貫智

編集委員：皆川良司

印刷所：(株)さんこうどう